

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会  
衛星・科学業務委員会（第7回）  
議事概要**

- 1 日時 平成26年1月22日（水）16:00～17:40
- 2 場所 中央合同庁舎2号館 総務省 8階 第1特別会議室
- 3 議題
  - (1) 衛星・科学業務委員会（第6回）議事概要（案）について
  - (2) ITU-R SG 4関連会合及びSG 4会合（2013年9～10月）の報告書（案）について
  - (3) ITU-R SG 7関連会合及びSG 7会合（2013年9月）の報告書（案）について
  - (4) ITU-R SG 4関連会合（2014年2月）への日本寄与文書（案）について
  - (5) ITU-R SG 4関連会合（2014年2月）の外国等寄与文書の審議表（案）について
  - (6) ITU-R SG 4関連会合（2014年2月）の対処方針（案）について
  - (7) その他
- 4 配付資料
  - 資料 衛・科-7-1 衛星・科学業務委員会（第6回）議事概要(案)
  - 資料 衛・科-7-2 ITU-R SG 4関連会合及びSG 4会合（2013年9～10月）の報告書(案)
  - 資料 衛・科-7-3 ITU-R SG 7関連会合及びSG 7会合（2013年9月）の報告書(案)
  - 資料 衛・科-7-4 ITU-R SG 4関連会合（2014年2月）への日本寄与文書(案)
  - 資料 衛・科-7-5 ITU-R SG 4関連会合（2014年2月）の外国等寄与文書の審議表(案)
  - 資料 衛・科-7-6 ITU-R SG 4関連会合（2014年2月）の対処方針(案)  
  - 参考資料1 衛星・科学業務委員会 関連WG審議報告
  - 参考資料2 ITU-R SG 4関連会合（2014年2月）の開催案内（4/LCCE/114）
  - 参考資料3 ITU-R SG 4関連会合（2014年2月）の日本代表団一覧（予定）
  - 参考資料4 今後のITU-R SG 4及びSG 7関連会合の開催予定
  - 参考資料5 WRC-15に向けた検討の主な流れ
  - 参考資料6 衛星・科学業務委員会 構成員名簿（平成26年1月現在）
  - 参考資料7 衛星・科学業務委員会 衛星業務WG 構成員名簿（平成26年1月現在）
  - 参考資料8 衛星・科学業務委員会 時間周波数WG 構成員名簿（平成26年1月現在）

5 出席者（敬称略、順不同）

主 査：加藤 寧（東北大学）

主査代理：井口 俊夫（情報通信研究機構）

構 成 員：藍沢 志津（マルチメディア振興センター）、井澤 一郎（宇宙航空研究開発機構）、大石 雅寿（国立天文台）、加保 貴奈（日本電信電話）、河合 宣行（KDDI）、岸田 花子（フジテレビジョン）、小松 大実（スカパーJSAT）、佐藤 祐子（東芝）、堂前 光洋（エム・シー・シー）、徳永 恭子（NEC東芝スペースシステム）、橋本 明（NTTドコモ）、藤沢 秀一（日本放送協会）、三谷 政昭（東京電機大学）、森川 容雄（アンリツ）、丸井 俊昌（気象庁）

関 係 者：岩間 司（情報通信研究機構）、河野 宇博（スカパーJSAT）、Julian Webber（国際電気通信基礎技術研究所）、正源 和義（放送衛星システム）、濱崎 隆志（宇宙航空研究開発機構）、福家 直樹（KDDI）、三留 隆宏（日立製作所）、山下 史洋（日本電信電話）

事 務 局：新井 課長、菅田 企画官、藤沼 課長補佐、竹下国際係長、杉浦衛星事業係長、桐山 国際係官（以上、衛星移動通信課）、星野 周波数調整官、渡辺 第二計画係長（以上、電波政策課）、山口 室長、宮澤 課長補佐、尾崎 国際政策係官、圓谷 国際調整係官（以上、国際周波数政策室）

6 議事概要

開会に際し、主査から、構成員に加え関係者も専門的立場から審議に参加するとの説明があった。

(1) 衛星・科学業務委員会関連WG審議報告

参考資料1に基づき、河合構成員（衛星業務WG主任代理）から、衛星業務WGの活動報告がなされた。

(2) 衛星・科学業務委員会（第6回）議事概要について

資料 衛・科7-1に基づき、衛星・科学業務委員会第6回会合の議事概要（案）について事務局から説明があり、特段の意見がある場合は、事務局あて連絡することとなった。

(3) ITU-R SG 4関連会合（2013年9～10月）の報告書（案）について

平成25年9月25日（木）から10月11日（金）まで開催されたWP 4A、WP 4B、WP 4C及びSG 4会合について、資料 衛・科7-2に基づき、事務局から報告があった。

特段、質疑なし。

(4) ITU-R SG 7関連会合及びSG 7会合（2013年9月）の報告書（案）につ

いて

平成25年9月10日（火）から9月18日（水）まで開催されたWP 7A、WP 7B、WP 7C、WP 7D及びSG 7会合について、資料 衛・科7-3に基づき、事務局及び会合参加者から報告があった。

主なやり取りは、以下のとおり。

大石構成員：WRC-15議題1.18に関する検討において、WP 7DとWP 5Bで電波天文と自動車用無線標定業務との共用検討・両立性検討結果をレポートにまとめる作業を行っているが、その作業でもめており、本件は今研究会期で大きな問題となっている。WP 7DとWP 5Bは同じ課（衛星移動通信課）で対応している上、国内委員会の場にはSG 5議長の橋本さんもいらっしゃるため、ジュネーブでもめる前に国内調整の場を設定していただき、良い解を見つけていけるようにしていただきたい。

橋本構成員：次回のWP 5B会合の開催は本年5月であり、CPMテキスト作成の最後の機会となる。その前に事務局に相談されると良い。

(5) ITU-R SG 4関連会合（2014年2月）への日本寄与文書（案）について

WP 4Aへ6件、WP 4Bへ3件、WP 4Cへ3件、合計12件の日本寄与文書（案）について審議がなされ、12件の寄与文書（案）が承認された。

○ WP 4A（放送衛星（BSS）、固定衛星（FSS）の軌道／周波数の有効利用）関係

- ・ Working Party 7Bへのリエゾン文書案  
新レポート草案ITU-R SA.[SRS SHARING 37GHz]（4A/J-1）  
資料衛・科7-4-1に基づき、河野氏（スカパーJSAT）より説明があった。  
特段、質疑なし。
- ・ レポートITU-R BO.2007-1改訂案（4A/J-2）  
資料衛・科7-4-2に基づき、正源氏（B-SAT）より説明があった。  
特段、質疑なし。
- ・ 新報告草案ITU-R S.[R1.FSS]作業文書の修正提案  
10-17 GHz帯における第一地域における静止軌道固定衛星業務のための周波数利用の評価（4A/J-3）  
資料衛・科7-4-3に基づき、三留氏（日立製作所）より説明があった。  
特段、質疑なし。
- ・ 新報告草案ITU-R S.[FSS 7/8 GHz COMPATIBILITY]作業文書の修

正提案

7150-7250 MHz（宇宙から地球）および8400-8500 MHz（地球から宇宙）の周波数帯における固定衛星業務と地上業務および他の宇宙業務との間の両立性検討（4A/J-4）

資料衛・科7-4-4に基づき、濱崎氏（JAXA）より説明があった。  
特段、質疑なし。

- ・ WRC-15議題1.9.1のCPMテキスト案の修正提案（4A/J-5）  
資料衛・科7-4-5に基づき、濱崎氏（JAXA）より説明があった。  
主なやり取りは、以下のとおり。

橋本構成員：和文概要に、7/8 GHz帯共に本議題のMehodはNOCを提案するとある。英文に、7 GHz帯についてはNOCとすべきとの記述があるが、8 GHz帯にはNOCとすべきとの記述がない。1ページ目の導入部分に、8 GHz帯についてもNOCを提案する旨を提示する方が良い。  
また、“Unsolved matters ～”に“technical/regulatory measures(such as a Resolution or footnote)”とあるが、Resolutionやfootnoteは、regulatory measuresと見なされる。technical measuresは、Recommendationが対応する。しかし、必ずしも本記述がなくとも文書として述べたいことは通じる。

濱 崎 氏：いただいたコメントを踏まえて適切な表現を検討する。

- ・ RR 11.44B号に基づく運用開始及び割当て周波数の通告に関する考察（4A/J-6）  
資料衛・科7-4-6に基づき、事務局（国際周波数政策室）より説明があった。  
主なやり取りは、以下のとおり。

大石構成員：本文書は、“information paper”なのか、それとも何かを提案して議題7の下でRR（無線通信規則）を変更したいのかが明確でない。何か変更提案をしたいのであれば、具体的な“proposal”を記載した方が良い。  
単に考えを示すのであれば、タイトルに“information paper”と追記すれば良い。

事 務 局：先日の衛星業務WGへは、RRの具体的な修正案を含めた文書を提出していたが、提案内容が強めの主張であったため、具体的なRRの改正案までを提案するのはどうかというコメントをWGでいただいた。また、CPMテキストの提出期限前に、もう一度WP 4Aが開催されるため、今回は「見解」という形で寄与文書を入力し、各国からの反応を踏まえて次々回のWP 4Aの

対応を考えてはどうかという提案をいただいたため、  
今回この形で寄与文書案を作成した次第である。

大石構成員：そうであれば、タイトルに”discussion paper”と書くか、  
この考え方を提示して議論をしたいとの旨を明確に本  
文に記載すれば、他の参加者に日本政府の意図が分か  
り、より効果的である。

事務局：その方向で修正したい。

- WP 4B（FSS、BSS、MSSのシステム、無線インターフェース、  
性能及び稼働率の目標）関係
  - ・ 新勧告草案 ITU-R S.[DIGCID]  
固定衛星業務における随時利用の地球局送信で用いるデジタル変  
調キャリア識別システム（4B/J-1）  
資料衛・科7-4-7に基づき、福家氏（KDDI）より説明があった。  
特段、質疑なし。
  - ・ WP 4B議長報告Annex 3に含まれたITU-RレポートS.2173[衛星シ  
ステム用マルチキャリア伝送技術]の修正報告草案に向けた作業文  
書に対する修正提案（4B/J-2）  
資料衛・科7-4-8に基づき、山下氏（NTT）より説明があった。  
特段、質疑なし。
  - ・ WP 4B議長報告Annex 4に含まれたITU-R S.[MULTI\_POL]「衛星  
通信における多次元信号マッピング技術」の新報告草案に向けた  
作業文書に対する修正提案（4B/J-3）  
資料衛・科7-4-9に基づき、山下氏（NTT）より説明があった。  
特段、質疑なし。
- WP 4C（移動衛星（MSS）の軌道／周波数の有効利用）関係
  - ・ 新報告案ITU-R M.[RNSS\_Multi\_EESS]に向けた作業文書修正  
1215-1300 MHz帯におけるRNSS受信機への複数のEESSシステ  
ムからの総干渉発生可能性の検討（4C/J-1）  
資料衛・科7-4-10に基づき、三留氏（日立製作所）より説明が  
あった。  
特段、質疑なし。
  - ・ 新報告案ITU-R M.[RNSS\_Multi\_EESS]に向けた作業文書に関する  
WP 7Cへのリエゾン（4C/J-2）  
資料衛・科7-4-11に基づき、三留氏（日立製作所）より説明が  
あった。  
特段、質疑なし。
  - ・ WRC-15議題1.9.2のCPMテキスト案の修正提案（4C/J-3）

資料衛・科7-4-12に基づき、濱崎氏（JAXA）より説明があった。

特段、質疑なし。

- (6) ITU-R SG4関連会合（2014年2月）の外国等寄与文書の審議表（案）について

平成26年1月21日時点で公表されている外国入力文書の審議表（案）について、資料衛・科7-5に基づき事務局から説明があり、承認された。

- (7) ITU-R SG4関連会合（2014年2月）の対処方針（案）について

対処方針（案）について事務局から資料衛・科7-6に基づき説明をし、対処方針（案）に基づき対処することが承認された。

以上